

# 石東中だより

合い言葉：石東中は未来の私の出発点

令和3年 2月19日

発行者：練馬区立石神井東中学校  
校長 市川 昌彦

## 挨拶の勧め

立春が過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ寒い日が続きます。3年生の入試も都立高校の推薦入試や私立入試が終わり、いよいよ21日の日曜日には都立の一般入試が控えています。体調を整えてベストなコンディションで、もてる力を存分に発揮してください。

先日、生徒会本部役員が実施した挨拶運動のスローガン投票で、来年度のスローガンが「たかが あいさつ されど あいさつ」「愛をこめて愛さつ」に決まりました。

今年度になって生徒たちの挨拶も以前に比べ、とても活発になってきたと感じます。来校されたお客様からも多くの生徒たちから元気に挨拶されて嬉しいとお褒めの言葉をいただいています。本校の校長として、とても誇らしく思います。

さて、その挨拶ですが、今のような立礼やお辞儀という形になったのは、奈良時代からのようです。それよりも昔の日本では、高貴な人同士は出会ったときにお辞儀をせずお互いが自分の両手を叩き、今でいう拍手を行っていたそうです。しかし、身分の違う人同士の場合は、手は叩かずに下位の人が片膝を立てて座ったり、床や地面に両手・両膝をついていたそうです。その後、時代が変わり、身分の違いで挨拶を変えるのは望ましくないということから、立礼に統一されることとなりました。

今では、挨拶の仕方も様々ですが、大切なのは笑顔で相手を気遣う気持ちをもって挨拶することだと思います。相手を気遣うとは、相手に対する敬意や感謝の気持ちがないと率直には表せず、相手には伝わりません。普段、何気なく口にしている「こんにちは」の末尾が「こんにちは」の「わ」ではなく「は」と表記するのは、「こんにちは、ごきげんいかがですか」と「こんにちは」の後に「ごきげんいかがですか」と相手への気遣いが続くからです。

短時間ですが、朝、校門に立ち登校してくる生徒たちに挨拶を行っています。以前に比べて生徒たちの挨拶も活発になってはいますが、残念ながら中には、こちらから「おはようございます」と声をかけても、友達とのおしゃべりに夢中という訳でもないのに、毎回全く反応してくれない生徒もいて、とても寂しい気持ちになります。でも、生徒だけではありません。挨拶週間で昇降口の前に立ち、挨拶をしている係生徒の前を顔くだけ無言のまま通り過ぎていく何人かの先生の姿も時折見かけます。挨拶には身分の違いは無いはずですが、先ずは、教師である我々が模範を示して元気よく生徒に挨拶することで、本校の目指す「あいさつが溢れる学校」に近づいていくのだと思います。先生も生徒も、相手を気遣う心を形に表した気持ちのいい挨拶を、当たり前のように交わせる学校をこれからもみんなで目指しましょう。



# 生徒・保護者アンケートの集計結果

副校長 小栗 義明

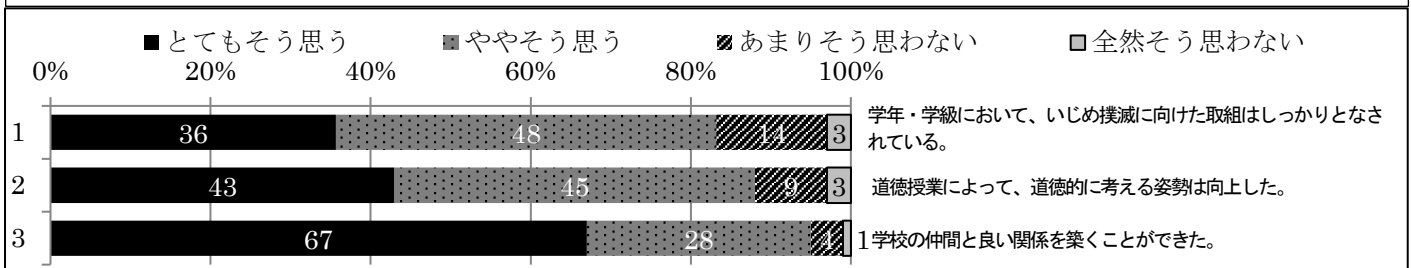
保護者の皆様にはご多用の中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。皆様から寄せられたご意見やアンケート結果を参考にさせていただきながら、令和3年度の教育活動をより一層充実させていきたいと考えております。簡単ではありますが、アンケートについてまとめさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

## 【本年度の経営方針（重点目標）の4つの柱を下に目標実現に向けた取組の結果について】

### ◆生徒アンケート

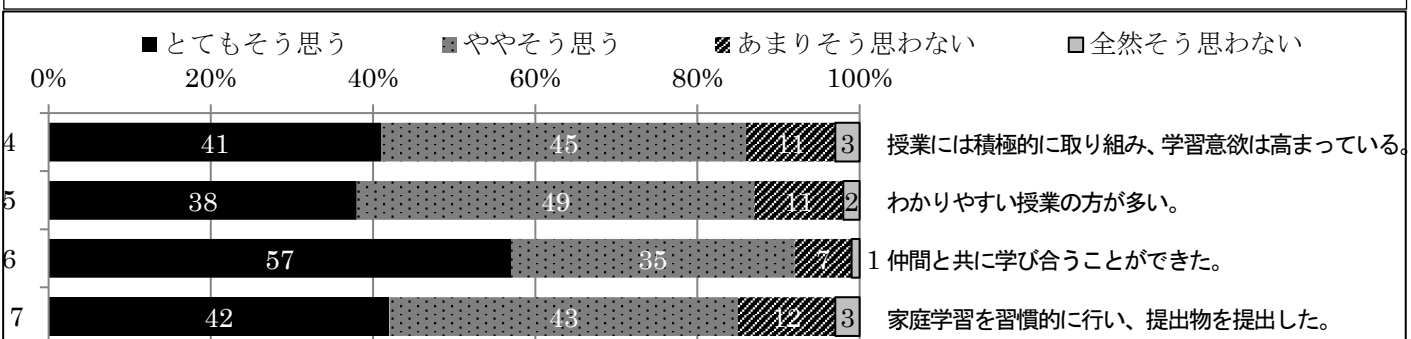
#### 1 人権教育の充実

「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める」ことを目的として、いじめ撲滅の開催・いじめ防止に向けてアンケート調査や教育相談週間等の取組を実施しております。今年度は臨時休校によりいじめ撲滅の開催が中止となりましたが、特別の教科道徳を要として、全教育活動を通じて「生命の尊さ」について触れました。また、いじめ撲滅宣言を全生徒に考えさせ、1学年はそれを基に学年の宣言を作成し、区から表彰されました。アンケート番号1.いじめ撲滅に向けた取組がなされている。3.学校の仲間と良い関係を築くことができたは、肯定的な回答が84%と95%であり、昨年度よりも数値が2~3%向上しました。多くの生徒が良好な友人関係を築いていると思われませんが、友人関係の悩みを担任・SC・心のふれあい相談員に打ち明ける生徒もいます。アンケートの数値では表れにくい生徒の心の声をくみ取るために、常に生徒に寄り添い、何でも相談できる信頼関係を築いてまいります。



#### 2 学力の向上を図るための授業力向上

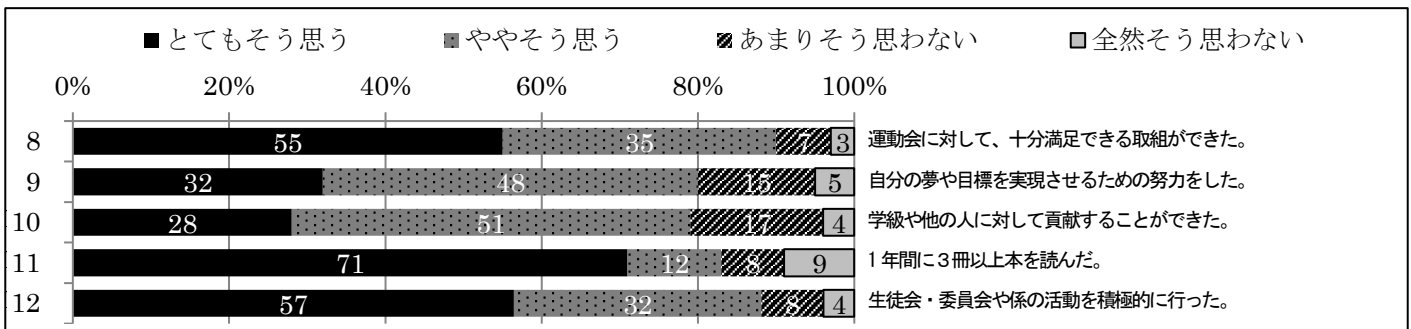
4~5月の臨時休校中に、教室に設置されたノートパソコン・プロジェクター・教材提示装置の効果的な使い方について、教員が互いに事例を紹介し合っ、学びました。この自主的な研修を通してICT機器の操作に習熟し、教員の授業力向上が図られました。教材を視覚的にわかりやすく提示することで生徒の理解が深まり、実習や実験を伴う教科では正しい操作を習得しやすくなりました。アンケート番号5. わかりやすい授業の方が多くは、肯定的な回答が87%となり、昨年度より9%も向上しました。文科省のGIGAスクール構想を受け、1月にタブレット端末（クロームブック）が区から貸与されました。これからはタブレット端末を活用する学習が求められ、授業形態も以前とは変わったものになっていきます。教員の研修を計画し、ICT機器の効果的な使い方を研究するとともに、4月から全面実施となる次期学習指導要領に基づいた教科指導を進めてまいります。



#### 3 主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実

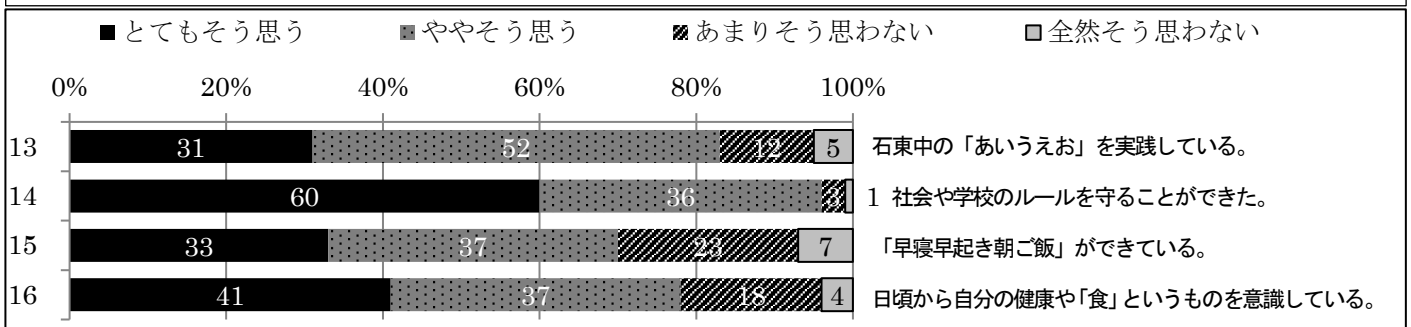
集団への所属意識や仲間との連帯感を深め、自己の特性を理解する上で大切な学校行事ですが、感染防止のためやむを得ず中止としました。感染防止対策を行い縮減して実施した運動会は、生徒はその意義を理解して、練習段階から真剣に取り組まれました。2年生は職場体験学習の代案を企画し、生徒が興味をもった職種の方に、メールで質問を送信する新たな試みを取り入れました。1年生も職業調べや上級学校調べにプラスして、3月に教室に設置されたICT機器を用いてzoom接続による企業の社長から働くことの意義を学ぶ授業を実施する予定です。メールやzoomの活用により、将来の生き方や職業について考えるキャリア教育の充実を図りました。

今年度は谷原地区祭等の地域の催しが中止になった結果、中学生にボランティアの依頼がなくなってしまいました。秋に、生徒会本部が全校生徒に、校庭の落ち葉清掃を呼び掛けました。朝早く登校して、奉仕的な活動に取り組む生徒を称えることで、自己肯定感や有用感を高めて、参加意欲の向上や社会に貢献することの大切さを伝えました。



#### 4 豊かな人間性を育む生活指導

“石東中のあいうえお（挨拶があふれいじめがなく美しく笑顔と思いやりに満ちた学校）”の最初に置かれている挨拶運動は、3年生が中心となり部活動における挨拶を活発化させたことが全校に波及して、登下校時や校内での挨拶が大きな声で交わされるようになりました。来校された方に「挨拶が良くなりましたね」とお褒めの言葉をいただくことが多くなりました。これで満足するのではなく、生徒全員がしっかりと挨拶ができるように、コミュニケーションの一つとして挨拶の大切さを生徒に伝え、さらに活発にしていきたいと思えます。アンケート番号14. 社会や学校のルールを守ることができたは、肯定的な回答が96%あり、生徒の規範意識の高さがわかります。また、食育については、給食時の放送で食材や栄養素に関することを説明したり、校舎の各階に設けた食育コーナーに給食だよりを掲示して、食に関する伝統や文化の継承・健康の保持増進についてわかりやすく伝えています。

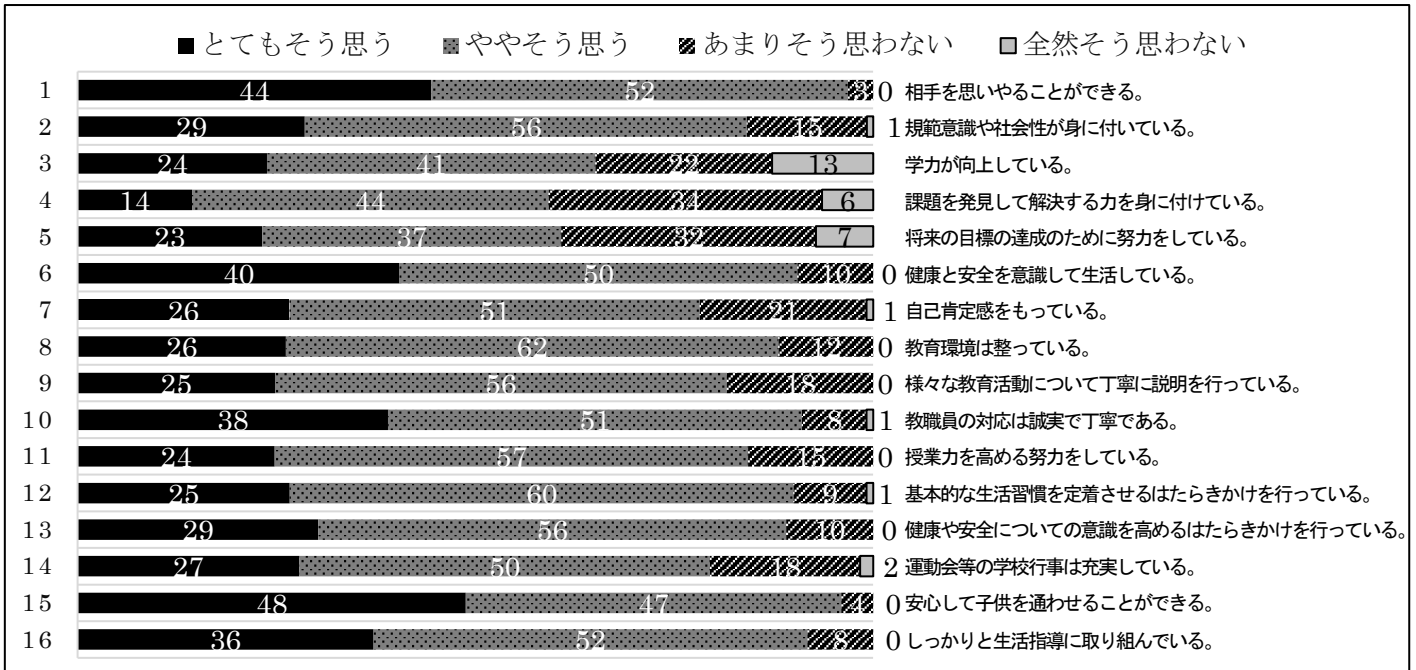


#### ◆保護者アンケート結果

保護者アンケート番号3～5の学習に関する項目は、肯定的な回答が60%前後になっています。他の項目と比べて数値がかなり低く、昨年度のアンケート調査でも同様な結果でした。本校では次期学習指導要領で示された“学び合い”を各教科が積極的に取り組んでおります。また、ICT機器についても、教員が自主的に研修を重ねて効果的な使い方を皆で共有しています。生徒アンケート番号4. 授業には積極的に取り組み、学習意欲は高まっているは、肯定的な回答が86%であり、学習に関して一応の成果が出ていると考えます。しかしながら保護者様の視点では肯定的な回答が6割程度なので、生徒と保護者様の数値に開きが生じる要因やその解消のために何が必要なのか、改めて検討したいと思います。

自由記述では、①三者面談がなくて残念だった。②校則の見直しをしてほしい。③部活動を増やして子供の選択肢を広げてほしい。④学校からの情報発信を増やしてほしい。等のご意見をいただきました。①→授業時数(1015時間)を確保するために、夏季休業日の短縮と授業カットを少なくする必要がありました。それにより1・2年生の三者面談をなくしましたが、学校での様子をお伝えし、学校と家庭の連携を図るために、来年度は年2回(7月と12月)実施予定になっております。②→他校と比べて厳しい校則について、以前からご意見をいただいております。それらの見直しを進め、来年度から改めることになっております。ただし、通学靴や通学バッグはメーカーが抱える在庫のことがあり、もう少し時間をいただきたいと思います。③→選択肢が広がる良さは十分理解しておりますが、活動場所に限りがあることや、部員不足が生じる心配もあり、現在ある部活動を維持したいと思います。④→学校日より、学年日より、ホームページで情報を発信しておりますが、回数や情報量について改善できないか検討いたします。

本来ならばすべてのご意見に対して回答すべきところですが、紙面に限りがあり掲載できなかったことをお許しください。いただいた一つ一つのご意見を真摯に受け止め、生徒にとって学校生活が充実したものになるよう改善の努力をまいります。



## 主な出来事の紹介

### ●入学予定者保護者説明会《2月13日(土)》

来年度入学予定者に向けた保護者説明会を開催しました。本校の説明会にお越しいただきありがとうございました。新入生が入学するのを教職員一同、楽しみにしております。何か、ご不明な点がございましたら学校までお問い合わせください。

### ●Chromebook 導入《全学年》

1月末より、GIGAスクール構想の一人1台タブレットPCが実現しました。練馬区はChromebook が貸与され、原則家に持ち帰り、学校や家庭で使用していきます(現状、学年ごとに持ち帰りの時期が異なっています)。詳しい使い方については先日お配りした別紙をご覧ください。授業で使う場面も増え、生徒はICT機器の上手な使い方を学んでいます。ご家庭で何かご心配なことがあれば気軽に学校までご相談ください。

### ●職業調べ学習《2学年》

自分の興味のある職業についてまとめ、「職業新聞」を作成しました。また、Chromebook のスライド機能を使って自ら資料をつくり、学級でプレゼンテーションを行いました。一人ひとりの工夫された発表はとても素晴らしいものでした。自身の将来を見つめ、PC を用いた調べ学習・プレゼンテーションなどを通して、いろいろな力を身に付けてほしいと願っています。



### ●職業調べ発表会《1学年》

各自が調べた職業の仕事内容ややりがいについて、貸与されたChromebook を用いて発表会を行いました。感染予防のため、要点をまとめて作成したgoogle スライドを教室で見合う形式で会が開かれました。様々な職業を知り、進路について考えてほしいと思います。

### ●メディアリテラシー講演会《1月26日(火)、2月9日(火)》

メディアリテラシー協会代表の寺島絵里花さんを講師としてお招きし、Zoom にてメディアリテラシーについて学びました。先日、Chromebook も配付され、SNS やインターネットなどの利用が今まで以上に身近になる中で、どのようなことに気を付けていくべきか、分かりやすく教えていただきました。情報を伝える側、受け取る側が気を付けるべき内容は、先入観(答えをすぐに決めつけない)、事実と意見を混同しない、一つの見方ばかりにならないように気を付けることや、見えない部分も想像することなど、具体的に教えて頂きました。

### ●デジタル版朝日中高生新聞の無料配布について

寺島さんのご尽力により、3月末まで中高生向けのデジタル新聞が無料で使えるようになりました。以下のホームページにアクセスし、パスワードを入力すると利用できます。是非、活用してください(石東生のみ許可されていますので、他人には教えないでください)。

※ ID は生徒向けのため、校外向けの学校だよりには掲載しておりません。ご了承ください。

## 今後の予定

2/21(日) 都立一般入試(3年)	3/ 1(月) 全校朝礼 安全指導	3/12(金) 避難訓練
2/23(火) 天皇誕生日	3/ 2(火) 都立一般発表(3年)	3/15(月) 生徒朝礼
2/24(水) 定期考査	3/ 5(金) 学年行事(2年)	3/18(木) 都立二次発表(3年)
2/25(木) 定期考査	3/10(水) 都立二次入試(3年)	卒業式準備
2/26(金) 定期考査	3/11(木) 専門委員会	3/19(金) 卒業式

感染症の影響により、予定が変更になる場合がございます。ご了承ください。